

2025年度阿波市元気なまちづくり活動支援事業

実施事業報告

子どもたちとのすてき
で楽しいまちづくり
プロジェクト

(キッズまちプロジェクト第2期生)

2年間の活動で子どもたちが感じたこと

- ♥ 「自分たちでまちを素敵に変えていくにつれて、どんどんまちへの愛着がわいてきた」
- ♥ 「まちづくりのような大きな活動は大人にしかできないと思うっていたけど、子どもでもできることがわかった」
- ♥ 「阿波町は田舎でダサいと思うっていたけど、キッズまちプロの活動をしたことで、阿波町ってかっこいいと思うようになった」
- ♥ 「この活動に参加してまちを愛さない子はだれもおらん」

2024 / 10

キッズまちフロ 第2期生スタート

テーマ：妖精の村をもっと素敵にしよう

子どもたちに望むこと

- ① まちは**誰でも素敵に変えられる**
ことを体験の中から気づいてほしい
- ② **ふるさとに愛着**を持ってほしい
(シビックプライド)



素敵で楽しいまちをみんなできつくと、まちはどう変わったでしょう。

- ♥ 人がやって来るようになりました
- ♥ イベントで出会いが増えて、楽しくなった
- ♥ ツリーハウスの森と妖精の村はみんなの自慢
- ♥ みんなの出番がたくさんできた(特技、趣味など)
- ♥ 自分のまちが好きだと言う人が増えている
- ♥ 次の世代が受け継いでくれるまちになるかも
- ♥ 予測よいも人口は減らないかもしいね

そんな希望は少しづつ叶えられています。

まちづくりに長くかかる活動です。

私たちはまだ13年。

元町エリアが

もっと魅力的になり、たくさんの人々がこの場所で楽しみ、交流人口が多くなるまでにはまだ数年は

かかるでしょう。

私たちはコツコツと続けながら夢を実現させたいと思います。

田んぼの中に
妖精の村と
ツリーツリーハウスの森を
つくったから
子どもからお年寄りまでの
ちまちまな人たちが
集い 楽しみ
新しいコミュニティが生まれ
ました。

妖精の村は
子どもたちと一緒に
まだまだ成長します。

